

周南公立大学 履修証明プログラム

10月1日開講

募集9月24日まで

地域福祉活動を支える

ソーシャルワーク入門

プログラムの目的

「8050問題」や「ダブルケア」といった複合的な福祉課題を抱える人を地域全体でどのように支えるかが、地域福祉活動の大きなテーマとなっている。本プログラムは地域福祉活動を支える人材に対してソーシャルワークに関する基本知識やスキル等の学びの機会を提供することにより、複合化する福祉課題の解決を促すことを目的とする。

こんな方におすすめ

民生（児童）委員やNPO・ボランティアといった広く地域の福祉実践に携わり、ソーシャルワークの学びを必要とされている方

■総授業数 45回（15回×3科目）【計67.5時間】 ■授業形態 対面のみ ■定員 10名

■受講料 98,600円（検定料9,800円込み）単位付与あり ■開講時期 10月～来年1月

■科目 6科目の中から3科目を選択

ケアマネジメント論、高齢者福祉、刑事司法と福祉、社会福祉の原理と政策Ⅱ、社会保障Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ

■身に付けた資質別履修モデル

モデル① 高齢者支援の実践力を育む

（履修科目：ケアマネジメント論、高齢者福祉、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ）

モデル② 制度を活かす地域サポート力

（履修科目：社会福祉の原理と政策Ⅱ、社会保障Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ）

モデル③ 地域のつながりを広げる力

（履修科目：高齢者福祉、社会保障Ⅱ、ケアマネジメント論、刑事司法と福祉）

科目の詳細は裏面

履修証明プログラムとは？

社会人等を対象に学習プログラムを開設し、修了者に学校教育法に基づく履修証明書を交付するもの（単位付与あり）。また周南市内に在住または通勤する人を対象に、周南市が5万円を補助します。

申込方法

9月11日（木）～9月24日（水）に、周南公立大学学務課窓口での申込が必要です。

その際に顔写真（縦4cm×横3cm）を持参してください。

お問い合わせ

周南公立大学地域共創センター

TEL 0834-28-5566（平日9時～17時）

mail su_rcc01@shunan-u.ac.jp

リカレント教育促進補助金

■対象 周南市内に在住または通勤する方

■補助内容

受講料の2分の1（1,000円未満切捨て、最大5万円）

■申込み

大学から発行された受講手続きが完了した書類を、周南市役所4階 公立大学連携課の窓口を持参下さい。

地域福祉活動を支えるソーシャルワーク入門

科目の詳細はシラバスをご確認ください↓



■総授業数 45回（15回×3科目）【計67.5時間】 ■授業形態 対面のみ

■身につけたい資質別履修モデル（一覧に○がついている科目をおすすめします）

モデル① 高齢者支援の実践力を育む

高齢者の困りごとを整理し支援計画を立てる力、地域の制度を紹介できる力、専門職と連携して支える力が身につきます。

モデル② 制度を活かす地域サポート力

生活に困る人に制度を案内する力、社会保障の仕組みを理解し活かす力、制度を活用して地域活動を展開させる力が身につきます。

モデル③ 地域のつながりを広げる力

高齢者や子育て世帯の困りごとに気づき、制度をわかりやすく伝える力、地域で助け合いを広げる力が身につきます。

科目名・単位数	担当	テーマ、到達目標（詳細はシラバス参照）	モデル①	モデル②	モデル③
ケアマネジメント論 2単位	小林武生	高齢者等が抱える複合的な福祉課題の解決にむけた支援計画の立案方法および多職種連携の仕組みを学ぶ。地域における適切なケアの調整力を養う。	○		○
高齢者福祉 2単位	小林武生	高齢者等を取り巻く福祉課題と、その支援制度・サービスの仕組みについて学ぶ。地域に根ざした高齢者等が抱える支援ニーズの把握とそれに応じた支援の提供方法について学ぶ。	○		○
刑事司法と福祉 2単位	脇野幸太郎	刑事司法の概要について学ぶとともに、罪や非行を犯した者に対して、その再犯を防ぎ、更生を図るための制度やその仕組み、支援のあり方などについて、社会福祉との連携を考慮に入れながら学ぶ。			○
社会福祉の原理と政策Ⅱ 2単位	輪倉一広 他	福祉サービスを支えるための社会福祉の諸理論について学ぶ。あわせて地域福祉活動の基盤となる福祉政策の動向と課題を理解し、社会福祉関連施策や包括的支援の実践について学ぶ。		○	
社会保障Ⅱ 2単位	難波利光	支援対象者を支えるための社会保障の概要について学ぶ。社会保険と社会扶助の関係並びに公的保険制度と民間保険制度の関係について理解を深め、わが国の社会保障制度の体系について理解を深める。		○	○
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 2単位	守本友美	ソーシャルワーク実践に係る価値・倫理観、基本的な援助技術を学ぶ。また支援対象者の福祉課題解決にアプローチするための、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。	○	○	



■時間割、教室 ※教室の場所は大学ホームページのキャンパスマップを確認してください⇒

時間\曜日	火曜	水曜	木曜
2限 10時40分～12時10分		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ S1301教室 10月1日～1月14日	社会福祉の原理と政策Ⅱ S1301教室 10月2日～1月15日
3限			
4限 14時40分～16時10分	高齢者福祉 S1301教室 10月7日～1月20日	ケアマネジメント論 531教室 10月1日～1月14日	社会保障Ⅱ S1301教室 10月2日～1月15日
5限 16時20分～17時50分			刑事司法と福祉 1141教室 10月2日～1月15日